

外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 手術室看護師に対するデジタル技術を用いた術前動画教育が腹腔鏡下大腸切除術の手術時間短縮やストレス軽減に及ぼす影響に関する検証実験

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学 外科学講座 助教 氏名 三城 弥範

《研究の目的》

手術を安全かつ円滑に進めるには医師だけでなく手術室看護師も手術手順を十分に理解する必要があります。しかし看護師は多様な手術を担当することから、個々の手術を学ぶ時間が限られており効率的な習得方法が俟たれてきました。我々は腹腔鏡下大腸切除術の手術手順や注意点を、iPad（Apple社）に載せた音声付ビデオで学ぶ方法を開発しました。手術の各部分について3分のショートビデオにまとめており、看護師の効率的な学習効果を検討します。

《研究期間》 研究機関の長の承認日～2024年5月31日

《研究の方法》

研究機関の長の承認日から2024年3月31日までに施術する初発大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術症例に参加する外科医と手術室看護師を対象に、手術終了時点でアンケート調査を行います。アンケートでは、ストレスチェックの度合いや手術室の外に物品を取りに行った回数等の情報を収集します。また、カルテからは、手術患者さんの手術時間、出血量、合併症等の情報のみを収集します。

●対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、研究機関の長の承認日から2024年3月31日の間に腹腔鏡下大腸切除術を受けた方

●研究に用いる情報の種類

- 1) アンケート用紙によるストレスチェック
- 2) 手術室の外に物品を取りに行った回数
- 3) 手術時間、出血量、合併症等

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さ

んの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学 外科学講座 三城 弥範

〒573-1010 大阪府枚方市新町 2-5-1 関西医科大学 外科学講座

電話：072-804-0101（PHS：56147）